



谷間のゆり

「支えられるため、支えるため」

岸和田キリスト教会 岸本志津乃

すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目をさまして、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。
エペソ6:18(新改訳聖書)

暑さも和らぎ、少しずつ涼しくなり過ごしやすい季節になりました。

今年新型コロナウイルスという未知のウイルスによって世の中は恐怖と不安に覆われてしまい、その感染拡大により、マスク着用や3密を避けるなど、社会全体が、また私たちの生活のあらゆることが大きく変化しました。それは教会も例外ではありません。ステイホームによって会堂での礼拝ができなくなり、オンラインメッセージ、プリント、CD・DVDをいただいて各家庭で礼拝をささげたり、教区、各教会のあらゆる予定を中止せざるを得なくなったりと、かつて経験したことのない状況にみまわれました。そのように互いに顔を合わせる機会が少なくなってしまう、それぞれが置かれている場所が違っていても、兄弟姉妹が心を合わせて祈ることはとても大切なことです。

エペソ6:18で言われている“祈り”は霊の戦いと直結しています。18節の前にパウロは、戦いに備えて「神の武具を身につけなさい」と語られています。ここでは、その根底にはまず聖霊の助けによる祈りが大切だということを教えています。

私たちは、日々、あらゆる困難と戦いながら生活していますが、キリスト者は“神の武具”を身につけ、互いのために

それぞれのお証し

2020年3月、スーパーからトイレトペーパーが消えました。多くの必需品が不足し、購入できなかった親子や夫婦のいさかいが始まり、お店の方に怒鳴る声が響きました。普段は隠れている感情が露わになり、コロナは肉体だけではなく、心もむしばみました。そんな光景を目の当たりにすると、家族に不自由させないため備えなければならないと、心がはやりました。オンライン授業となり帰省していた息子に、「マナの教えがあるやろ」と諭され、「その日に必要な物以上にマナを集めても、翌朝虫がわき、悪臭を放った」という出エジプトの箇所、すぐに不安が取り除かれました。そしてそのとおり、世の中がどんな状態でも、不思議と必要は与えられました。こうしてどんな時も、いつも主に信頼し「聖書に書いてある！」を合言葉に、御言葉を紐解き、主と共に歩むことを教えられています。離れて暮らしているため、

祈り合うことによって、それぞれの信仰生活が守られ、支えられるのです。聖書は「絶えず祈りなさい」(Iテサロニケ5:17)と勧めています。祈りは、互いが離れていてもそれぞれの場所で、時間を合わせ、祈りの課題を共有して祈ることができるのです。祈りは目に見えないものですが大きな力があります。

主イエスは「もし、あなたがたのうちふたりが、どんな事でも、地上で心をついて祈るなら、天におられる私の父は、それをかなえてくださいます。」(マタイ18:19)とおっしゃいました。「支えられるため、支えるため」共に祈ることによって、自分だけの喜びだったものが、兄弟姉妹の喜び、ひいては教会全体の喜び、恵みになっていくのではないのでしょうか。

一人で祈るだけではなく、他の人に祈られている。一人ひとり置かれている場所は違えども、兄弟姉妹が共に心を合わせ祈るといふ素晴らしさを味わうことは、それぞれの信仰に大きな励ましを与えられる経験になります。

皆さんお一人お一人も誰かの祈りを通して支えられています。兄弟姉妹の慰め、励ましのため、また自分自身の信仰のため、etc。。。祈りの課題はたくさんありますが、ウィズコロナの中にあっても、聖霊の助けをいただきつつ、日々、互いのために祈り合う信仰生活を続けていきましょう。

ゆっくり話す機会が無い息子とも、今の状況を、御言葉を通して語り合うことができたことも、本当に感謝でした。

また教会に集まる事が出来なかった期間に、牧師先生が配信してくださるメッセージや、教派を越えてネットで配信して下さる礼拝、証、賛美に、とても強められました。様々な行事が中止となり、仕事もリモートワークが中心となったことによって、普段以上に家族で御言葉を分かち合う時間が与えられたことも、大きな恵みです。

世界中何処にも逃げ場の無い状況の中で、私たちクリスチャンは、主のみつばさの陰にかくまわれていることを痛感し、誰一人滅びることの無いように願っておられる主と、思いをひとつに、福音宣教に励みたい、用いてくださいと、コロナ禍中、ただただ心から祈る者です。

加古川福音キリスト教会 姉妹

私は今年で十五年になる会社経営をしておりますが今年には厳しい経営状況に直面しておりました。コロナの影響を受けこの経営状況で存続させるかを考え悩んでいました。神様に祈り求めたいのに会社の売上や資金繰りのことで頭がいっぱいでそんな自分が嫌なのに頭から離れず、ずっと暗闇の中を歩いているようでした。何度も会社をたたもうと思いましたが私はすべての負債の連帯保証人になっておりますのでもしも会社を潰した場合、私は責任をとらなければいけません。私個人だけならいいですが今、私は家族を与えられておりますので少なからず家族に迷惑をかけることは避けられません。

私は結婚してから祈り続けていたことがあります。それは「この家庭を守って下さい」ということです。商売をしているが故に良い時も悪い時もあります。だからこそ家族を悲しま

4月、緊急事態宣言が発令された時、私たちの教会もネットとDVD、CDなどで礼拝を守るという形をとりました。そのご奉仕にあたらせていただいたときの証しをさせていただきたいと思います。

今回発令と同時にネット礼拝にすぐ対応できたのは、日頃より毎週の礼拝をYOUTUBEに録画配信していたことも挙げられますが、何よりも神様が昨年より事前準備をしてくださっていたことにあります。

撮った録画を編集しての配信となる今回、私自身動画ソフトの編集作業から離れていましたが、教会の仕事のため昨年10月より復帰していたこと。また、最近の動画ソフトを操作するためには、高性能なパソコンが必要になってきますが、奇しくも、昨年10月より教会のパソコンが新しくなり、対応できるようになっていたこと。しかし実際に動かしていくと、予想しなかった問題点、エラーが続出、IT担当の兄弟

せたくないと思い、祈っていただけましたのでこの状況を受け入れることができず、育児も重なり私は心に全く余裕がありませんでした。自分で祈ることもできないほど追い込まれていましたが幸いにも主人が祈ってくれていたのでは何か支えられていました。

しかし、ある日コロナ関連の補助金で中小企業向けに給付されると経済庁から発表がありました。少し前まで絶望と不安の中でしたが神様は新しい道を用意して下さいました。今思い返せばこの十五年の中で苦難に直面したことが何度かありました。

しかし神様は色々な方法で守り導いて下さいました。これからのどんな場面に遭遇するかわかりませんがどんな状況でも神様は共にいて下さり、必要を備えて下さるお方だということを忘れずにこれからも歩んでいきたいと思えます。

七條基督教会 姉妹

姉妹と解決に取り組み、直前までにすべての問題が解決されていたこと。

今回の配信の前に、神様は全てをお膳だてし、スムーズに配信できるようにしてくださっていたのです。もし、昨年の事前準備がなく、今回これに臨んでいたらネット礼拝はできなかったでしょう。そう思うとただただ神様をほめたたえ賛美せずにはいられません。神様は何もかもご存知です。ハレルヤ！予想以上に大変な作業でしたが、神様の御手をはっきりと確信しながら、7週間のご奉仕を無事全うすること出来ました。

コロナ禍でマイナスと思えることがたくさんあるように見えますが、御国拡大の働きのために、主ご自身がそれらすべてを益と変え、用いてくださることを信じます。主に栄光をお返いたします。

明石キリスト教会 姉妹

箱献金のご協力をお願い

いつも関西教区の箱献金についてご理解いただき、またご協力を感謝致します。

毎年、関西教区の兄弟の篤いお祈りと共に捧げられました箱献金は、関西教区内の開拓途上にある教会や、自然災害などにより被害が生じた教会、経済的な必要を覚える教会に届けられ、様々な用途に応じて活用されています。

私は現在の高槻キリスト教会に赴任する前に、岸和田キリスト教会で牧会させていただきました。その際に関西教区から箱献金が捧げられたのです。ちょうどその時、教会ではプロジェクターやプリンターなどパソコン周辺機器の必要経済が満たされるようお祈りしていた時でしたので、いついかなる時も必要を満たして下さる主の恵みに感謝しました。それと共に、捧げることが出来るということも主の恵みであることを知りました。この捧げものが届けられていく教会の

高槻キリスト教会 福井美由記

祝福、さらなる宣教の前進を祈りつつお捧げするときに、私たちは改めて主にある共同体、共に福音に生きる兄弟姉妹であることを教えられるからです。

使徒パウロが投獄されていた時に、積極的に支援し続けたのはピリピ教会でした。パウロはそのことを深く感謝すると共に、ピリピ教会の霊的な祝福と守りを祈りながら手紙を記しました。(ピリピ 4:15~17)ピリピ教会からの捧げものが戦いの中にあるパウロにとっての大きな慰め、そして励みとなったように、関西の諸教会から集められた箱献金が、多くの働き人、そして教会にとっての愛と慰めに満ちたものとしてこれからも届けられていくことを期待します。ぜひ、今後とも愛する皆様のご協力をお願いいたします。感謝ととみに。

- * 2019年8月には、但馬伝道所とサクラ・キリスト伝道所に各10万円が届けられました。
- * 今年は、コロナ禍によって経済的困難を受けている教会への支援が検討されています。
- * 郵便振込：口座記号 00960-2 口座番号：269520 加入者名：関西教区 箱献金
- * 教区女性部で払込用紙を用意しています。必要のある方はお知らせください。
- * 教会、個人どちらでも受け付けています。